



RI 会長テーマ

2022～2023 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人

会 長 古内 一二  
副会長 山口 徹  
幹 事 今野 義也



= 会長指針 =

お互いを理解しあおう

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

11月第4週例会 2022年11月24日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 23,500円 (報告者 新沼達央会員)

本日出席率 : 62.86% 前回修正後100% (メークアップ 13名) (報告者 紀室綾子会員)

★ 会長の時間 : 古内一二会長



私は自分の生業が家電業の2代目ということもあり、当時よく松下電器の研修所に行かされたものです。そして、そのたびに幸之助さんの商売の仕方、考え方を教わり、「経営の神様」と言ったら、当然「松下幸之助」なのですが、今日はその幸之助さんからも大きな影響を受けた、もう一人の「経営の神様」と評される、稲盛和夫氏について話したいと思います。」稲盛氏は今年の8月24日、京都の自宅で息を引き取りました。享年90でした、27歳の時仲間8人と資本金300万で「京都セラミック」(現京セラ)を立ち上げ、ファイレンセラミックの技術の開発で、世界的な企業に育て上げました。84年には

電気通信事業の自由化に即応し、「第2電電」(現KDDI)を創立し、2010年には政府の要請を受け、経営破綻に陥った「日本航空」を2年8か月で立て直すなど、経営者としての実績は随一の方です。こうした稲盛氏の経営基盤の一つが、アメンバー経営と称し大きな組織を独立採算で運営する小集団に分け、その小さな組織のリーダーを中心に各個人が自らの目標を立て、それぞれの立場で目標達成に向けて最大限に努力する。その結果全員が目標に向けて力を結集し、全員参加型経営を実践出来るというものです。

そしてもう一つが「京セラフィロソフィ」です。これは、稲盛氏が創業以来様々な困難を乗り越える中で生み出された仕事や人生の指針であり、京セラを今日まで発展させた経営哲学を書いたものです。その内容の一部を紹介すると、「人間として正しい生き方、一人一人がより良い人生をおくるために必要な人生の真理を知識として理解するのではなく、日々の仕事や生活に於いて実践していくことが何より大切です。そして、その弛まぬ努力が、その人の心を高め、人格を磨くこととなります。そのような人生観を共有した人達が集う集団には、夢と希望にあふれる明るい未来が必ずひらけることを私は確信しています。」と言う一文が有ります。これは、以前にも話しましたが、松下幸之助さんが「松下電器は何を作る会社だ」と聞かれたら「人を作る会社です」と答えなさい」と言ったそうです。二人の偉大な「経営の神様」の共通点は、やはりこうした仕事をつうじての人づくりにあったからだ、あらためて思いました。

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

### 1 ガバナー事務所より

東日本大震災遺構 石巻市立大川小学校の被災状況・検証等掲載の「小さな命の意味を考える第2集」が届いています。

◆◆◆ 本日のプログラム：ミーティング報告 ◆◆◆

テーマ：「自分にとってのクラブの魅力・意義」

★ 第1班 出席者： 班長・発表者 藤丸数子 上野 哲 菅野嘉洋 紀室綾子 金比呂正 熊谷雅也



場 所： 神菜月

当日は、和やかな雰囲気の中、先輩方のいろいろなお話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごしました。

今回のテーマは「自分にとってのクラブの魅力・意義」ということで、皆様からお話しいただいた事を私なりにまとめてみました。そんなこと言ったかな？という事などありましたら申し訳ありません。先にお詫びしておきます。

お話を伺った中で、いろんな方に出会えて仲間ができたことがとても良かったという趣旨のお話が必ずありました。

ほかにも、誰でも人の役に立ちたいという思いはありますが、ひとりではできないことをロータリーという組織で行っています。人の役に立ちたいという思いを持つのは人として当然のことです。例えばリオ撲滅の寄付をとっても奉仕の心と組織力が素晴らしいと思います。

お付き合いする中で人となりを知ると例会に出席するのが楽しみになります。最初のうちは行きたくないと思うこともありましたが、出席しているうちにいろいろな仕事や考え方、または経営者としての在り方など多くの学びがあります。さらに人前で話す機会が増えるので、自然と大勢の人の前で話せるようになります。

地区大会等、他のクラブの方々とふれあう中でも、ロータリーの良さが改めて見えます。家族がお世話になった方に偶然お会いすることができたということもありました。ロータリーにはすばらしい方がたくさんいらっしゃるの、視野が広がり、多くの気づきがあります。

海外との交流があるのもすばらしいと思います。ロータリーの仲間だからこそ南原（なもん）との友好関係も築くことができたのではないかと思います。ホームステイの受け入れもロータリーならではの活動であると思います。

このように様々な活動を通して出会いや学びがあり、仲間ができるということがクラブの魅力・意義ということではないかと思いましたが、参加されたみなさまはどのように感じましたでしょうか。

今回の開催にあたっては、志田さんにお店の予約や当日の資料をご準備いただき、紀室さんには諸準備をしていただきました。和賀さんにも教えていただきながらミーティング開催にこぎつけました。ありがとうございました。

また、私のつたない進行の中、快くお話しいただいた1班の皆様にご感謝申し上げます。

ミーティング発表は以上で終わりたいと思います。 ご清聴ありがとうございました。

★ 第2班 出席者 班長 松田福美 発表者 菅原 実 高木久子 鈴木信男 浜田浩誠 濱守豊秋



藤原太伸 石川恵美子

会 場：カフェ&バー ルポゼ

お話の中で、「海を愛する会」がロータリーに入会するキッカケになった方が多く、夏まつり当日までご苦労されながら七夕船等の完成を共に目指すことでお互いの人柄を知り、その後のロータリー活動がスムーズになっているのではないかと感じました。そして皆さん異口同音に、入会してからはさいとう製菓の齊藤会長をはじめ超忙しい人達から学び、そんな方々とお付き合いできる事で、お仕事の幅が広がったと話していました。

私達のメンバーは、ロータリー歴とご経験の多い濱守さんから口火を切って頂きました。最初にお話が出たのは、インターアクトクラブの存続が危ぶまれた際、濱守さんにお声がかかり、あれこ熟考の末、高校生の米国研修を思い立ち、多方面に体当たりでお願いした結果実現し、この危機を脱したというお話でした。ご本人達はもちろん、なかなかできない貴重な体験をされたと思いますし、ご父兄の方々にも喜んでいただけたとの事です。事を起こすときには、この例のごとくまずは利他の精神を考えるべきなのだと教えて頂きました。

その後それぞれの方々の思いが語られ、以前は会員も多く、理事会等もすごく活発だった事、甲子園での野球の経験であったり、地区大会のソングリーダーとして、1000人以上のロータリアンの前でタクトを振ったこと。また、前原さんや鈴木さん他亡くなられた方々の素晴らしかったお人柄と、数々のエピソードが懐かしそうに話されました。

私の全体を通しての感想は、あっという間の人生。やはり、ロータリーの活動をはじめ、すべての事は自ら進んで飛び込み、取り組む姿勢があつてこそ学びも多く面白いのだと実感いたしました。

最後は、せっかくロータリーに入会したんだから、皆さんで海外に行ってみたいね！との話になりお開きとなりました。

★ 第3班 出席者 班長 新沼達央 発表者 谷地 保 鈴木秀樹 船砥俊昭 松岡克之 水野賢一  
会 場 : 鱒不知



第3班(新沼達央班長)による第一回ミーティングは、11月19日18:30より、鱒不知にて開催されました。テーマは「自分にとってのクラブの魅力・意義」です。参加者の中で、私が一番クラブ歴が浅いので、諸先輩方のお話は、大変為になり、クラブの歴史を知る良い機会となり、また、終始和やかに、皆さんが活動を振り返りながら、今後に向けての活動の抱負を共有するととても良い機会になったと思います。

参加者より、様々なお声をいただきました。お声をざっくり分類すると大きく5項目に分かれました。

①交流 ②親睦 ③研鑽 ④奉仕 ⑤ネットワーク

これらは普段からロータリー活動において、重視されていたり、その効果を感じられる、まさに参加する事によって享受される恩恵ではないか、と思料されます。

具体的には、

①、②：年齢、肩書、立場に関係なく仲間になれる。交友関係が広がる。異業種交流が出来る。世界が広がる。地元出身でないが、人脈形成出来た。連帯感が生まれ、団結力が強くなった。など

そして、その交流、親睦を深める事に寄与する行事(ゴルフコンペや野球大会等)の価値を評価する意見多数ございました。

③研鑽：先輩の知識、経験(講話等)に触れる事で成長・自己研鑽を図れる。人前で話す訓練が出来る。

また、恥をかく事が出来る(失敗も貴重な経験と学びの場)等、自身の成長、人間性の向上につながる効果を実感されている方が多数いらっしゃいました。

④奉仕：社会貢献・奉仕活動が出来る…ロータリークラブの根幹です。特に、その組織力のすごさを痛感したのは、やはり、東日本大震災後の世界中からの手厚い、かつ、想いのこもった暖かいご支援の数々です。そして、普段は、清掃活動や、インターアクトクラブ等、地域、地元に着目した、地道な活動をしっかり継続し、会員に奉仕の心を醸成する機会を、継続的に、学びと実践を両立させるプログラムを構築しているところが素晴らしいと感じております。

⑤ネットワーク：上記にまつわる様々な活動を通じ、同じ志で奉仕に取り組む仲間が世界中にいらっしゃる、このありがたさと凄さを、様々な場面で体感され、仕事、生活が豊かになる、そういう経験をされている会員が多数いらっしゃいます。

※その他：昼食が美味しい(^^) 仕事につながる(^^)等

というようなご意見、ご感想を、過去の事例等を交えて、たくさん聞かせていただきました。

皆さん、本気かつ熱い気持ちで取り組まれているので、本音で語り合う事が出来、本当の友が出来る素晴らしい組織である、という事で、意見がまとまり、最後に、こんな素晴らしい活動を絶やさない為にも、会員増強、拡大は必要だよね！と、いう事で、参加者一同、会員拡大も意識して取り組みましょう！と、気持ちが一つになった、とても実のあるミーティングとなりました。

こういう機会をいただいた事に、感謝申し上げます。

簡単ですが、3班のミーティングの報告とさせていただきます。